

## 国語科学習指導案

北海道教育大学附属函館中学校 国語科

1 単元名 「立場の違う意見を聞き合おう。(パネルディスカッション)」(第3学年)

## 2 単元について

本単元では、パネルディスカッションを通して、指導事項ウ及びエの力を身に付けさせることをねらった「A話すこと・聞くこと」領域の単元である。

パネルディスカッションは、コーディネーターが進行役を務め、異なる複数の意見をもとに課題の解決を図る話し合いの一形態である。指導事項エを学習するのに適した言語活動であると考え、生徒は本単元で初めてパネルディスカッションに取り組むため、各グループの主張を事前に交流して進行シナリオを作成したり、互いのパネルディスカッションを評価し合ったりするなど、話し合いを効果的に展開するためにはどのような工夫をしたらよいかを考えさせることに重点をおいて指導することとした。また、指導事項の見方や考え方を深める力を身に付けさせたいと考える。

3 題材名 「パネルディスカッションを評価しよう。」

## 4 学習目標

- ・話し合いを効果的に展開する進行のあり方について考えることができる。【話すこと・聞くことエ】
- ・聞き取った内容をもとに、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。【話すこと・聞くことウ】

## 5 本時における「消費者教育で育むべき力」および学習指導要領の「内容」

領域	①消費者市民社会の構築に関する領域
項目・目標	イ・持続可能な社会の必要性に気づき、その実現に向けて多くの人々と協力して取り組むことができる力
目標を構成する要素	2) 多くの人々との協力的な取組・態度
学習指導要領の「内容」	A(1)「課題の解決に向けて互いの考えを活かし合う」

領域	①消費者市民社会の構築に関する領域
項目・目標	ウ・消費者が、個々の消費者の特性や消費生活の多様性を相互に尊重しつつ、主体的に社会参画することの重要性を
目標を構成する要素	3) 他者と協働して諸課題解決のための行動
学習指導要領の「内容」	A(1)「課題の解決に向けて互いの考えを活かし合う」

## 6 本時の学習活動

学習活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
1 前時の学習について振り返る。 2 本時の課題を提示する。	○ 前時の学習について確認する。 ○ 本時の学習について説明する。	
◎話し合いを効果的に展開する進行のあり方について考えよう。 ○聞き取った内容をもとに、自分の考えを深めたり広げたりしよう。		
3 パネルディスカッションを行う。 ① コーディネーターが話し合いの進め方を確認する。(1分) ② パネラーが意見を発表する。(3分×4グループ=12分) ③ パネラー間で話し合いを行う。(10分) ④ フロアを交え、全体で話し合う。(5分) ⑤ パネラーが修正した意見を発表する。(5分) ⑥ コーディネーターが話し合いをまとめる。(2分)	○ コーディネーターには、事前に作成したシナリオを参考にして話し合いを進めるよう助言する。 ○ パネラーやフロアには、各グループの発表内容やコーディネーターの発言等をメモしながら聞くよう助言する。 ○ 評価を担当する生徒については、グループごとに着目する対象を分担し、事前に配布した評価の観点を参考にして話し合いの様子を評価するよう助言する。	・コーディネーターの生徒がタイムキーパーを担当する。 ・パネルディスカッションを行うグループは、最初に意見を発表する人、質問に対して回答する人、フロアとして意見を述べる人など、事前に役割を決め、主体的に話し合いに参加できるようにする。
4 パネルディスカッションを振り返り、話し合いを効果的に展開する進行のあり方について考える。	○ パネルディスカッションを行ったグループには、話し合いを通して考えが深まったことや広がったことを書くよう指示する。 ○ 評価するグループには、話し合いの進行の仕方について気付いたことを書くよう指示する。	

## 7 評価

- ・話し合いを効果的に展開する進行のあり方について考えることができたか。【話すこと・聞くことエ】
- ・聞き取った内容をもとに、自分の考えを深めたり広げたりすることができたか。【話すこと・聞くことウ】